

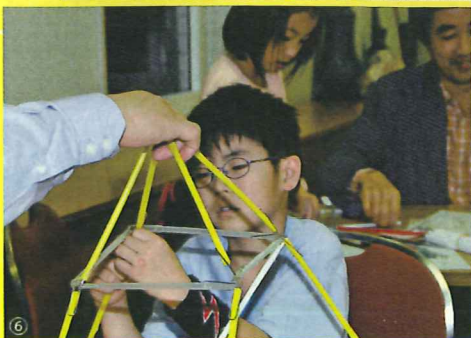
10/25,26

親子で学ぶ耐震技術の大切さ

「見て、触って、地震に強い家の秘訣を知る」をテーマに10月25、26日、「親子の建築講座【地震と建築】」が行われ、2日間で約40組の親子が集まった。講師は福和伸夫・名古屋大学教授。地震に強い建物はどのような建物か？ 地震発生時のメカニズムとは？ 模型を使った実験などを通して、さまざまな角度から、地震についてわかりやすく子供たちに説明した。

最後に、ストローとゼムクリップで立体模型を作り、高さ、美しさ、強さを競い、「構造」に触れた。今回、地震について学んだ子供たちに①地震で家が壊れないか調べる②家具を倒れないようにする③エマージェンシーホイッスル（IDカードが入っている笛）を携帯する④1週間分の食料と水を用意するという宿題が出された。

親子の建築講座【地震と建築】



- ①熱心に講義を聞く子供たち。講義は「社会科」「理科」などテーマ別に科目を分けて子供たちにわかりやすい内容で行われた
- ②③「どのような建物が強いのか？」模型を使っての実験
- ④人間の背丈の違いを利用して大きい建物と小さい建物の揺れ方の違いを実験
- ⑤⑥⑦ストローで立体模型を制作
- ⑧⑨投票で高さ、美しさ、強さを競った。写真は立体模型を激しく揺らし、強さを競っているところ

